

# 会員のひろば



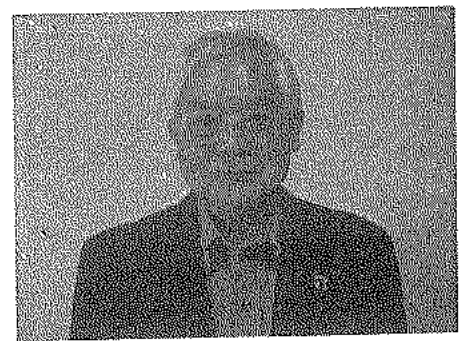
篠原 修彦 (光台)

京都府や京都府シルバー人材センター連合会、精華町のご指導・ご援助の賜ものであることとは言うまでもないことだが、この快挙に到るまでの設立準備委員長はじめ準備委員の皆様との並々ならぬご苦労と熱意に感謝の念を禁じ得なかったのがそれである。この紙面をお借りして御礼を申し上げますと共に今後益々の本センターの発展を記念致します。

「平成16年11月25日」

明けましておめでとうございます。

昨年、精華町シルバー人材センターの社団法人移行を目指した設立総会に出席して、感じたことを述べてさせていただきます。任意団体として発足し、翌一年後には法人化しようと同関係各位が一堂に会し、決議したのが「平成16年11月25日」である。



川野 武豊 (光台)

「社団法人になって

望むこと」

学研都市の中核地である精華町に任意団体を経て念願の、財団法人 精華町シルバー人材センターが平成17年4月1日に設立され大きくはばたこうとしています。この精華町の地域社会へ如何に参加し貢献することが出来るかが一番大きなテーマと考えます。これはシルバーの会員自身がどの様な仕事に就こうともプライ

ドを持って社会貢献をしていくのだという想いで就業し、満足感や充実感を得るものだと認識することが、地域社会に貢献する第一歩だと考えます。次にシルバー人材センターの基本理念である、「自主・自立」「共働・共助」を具体的に運用面に取り入れシルバーの発展充実の為に事務局と会員が一致協力して、新しい仕事の創造や、会員と事務局間の情報網整備などを、会員自らの手で創り上げていく体制造りが必要です。そして目前の課題としては福祉支援です。精華町は近隣の市町村に比べ福祉事業は進んでいます。が、今 地域が求めているのは介護や家事そして子育て等の支援です。シルバーとしては一日も早く、介護・家事・子育て支援の手助けが出来る人材を育成して地域社会の要望に応え、貢献することではないでしょうか。